

台湾の地盤災害の研究者による現地見学会が赤谷地区で実施されました！

平成23年台風12号による大規模な斜面崩壊に伴う河道閉塞が発生した赤谷地区（奈良県五條市大塔）において、台湾の地盤災害の研究者による現地見学会が実施されました。当日は、多数の研究者の方々が参加され、現地の対策状況や深層崩壊のメカニズム（地形・地質的特徴など）についての説明に熱心に耳を傾けられておられました。

紀伊山系砂防事務所職員による被災状況、対策工事の進捗状況等の説明



赤谷地区の対策方針と進捗状況

工事中の渓流保全工の状況

赤谷地区の対策内容

対策の目的

1. 土砂ダムが降雨等によって浸食され、下流に流出するのを防ぐ … 堤堰工等
2. 崩壊した斜面に残っている不安定な土砂と新たな崩壊による土砂の流出を防ぐ … 緑化工等
3. 台風等による洪水を安全に流す … 渓流保全工

対策実施にあたって監視体制

崩壊した斜面には不安定な箇所が多く、降雨により再崩落が発生する恐れがあるため、リアルタイム画像で監視し、安全を優先し作業を実施。



現在の対策進捗状況

- …完了
- …施工中
- …予定



工事中の渓流保全工の状況



施工中の床固工

日 時：平成30年10月26日（金）

場 所：川原樋川床固工群（赤谷地区）

（奈良県五條市大塔町清水地先）

見学者：台湾の地盤災害の研究者 約30名

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局

紀伊山系砂防事務所 工務課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681

TEL 0747-25-3111 (代)

